

こんな方におすすめ

自分の生き方を
深く考えたい

包括ケア
地域共生に
興味がある

賢く生きる為の
リテラシーを
身につけたい

講師



蘆野吉和

山形県庄内保健所 所長

1952年鶴岡市生まれ。1978年東北大学医学部卒業、卒後外科医の研修（仙台市立病院、東北大学医学部）を受け、1985年福島労災病院に赴任（外科部長）。専門は消化器外科、甲状腺外科、乳腺外科、一般外科。手術、抗がん剤治療、放射線治療などを組み合わせない治療を主に行うようになった。しかし、治らないがん患者も多く、1986年から緩和ケア、1987年から在宅医療（在宅ホスピスケア）に取り組み、緩和ケアの地域ネットワークづくりがライフワークの一つとなった。2005年青森県十和田市の十和田市立中央病院院長・事業管理者に就任。地域に開かれた病院づくりと共に経営改善に尽力。2012年青森県の緩和ケアおよび在宅医療普及のため青森県立中央病院に医療監理官として赴任。2014年北海道十勝地域の地域包括ケアシステム構築を図るために北斗病院（帯広）地域包括ケア支援センター長として赴任。2019年10月に鶴岡に戻り、2020年4月より庄内保健所入職。

日本ホスピス・在宅ケア研究会理事長、日本在宅ケアアライアンス業務執行理事、
日本在宅医療連合学会監事（前代表理事会長）

進行



瀬尾利加子

㈱瀬尾医療連携事務所 代表

【開催概要】全6テーマ（裏面をご覧ください）

開催日程：1テーマごと火曜日・土曜日に同じ内容で開催。

ご都合に合わせて受講ください。

対象：一般住民、医療介護福祉従事者

場所：みどりまち文庫

住所：鶴岡市本町1-7-45まちづくりスタジオ鶴岡Dada3階

【参加費】

会場参加 一括払い 6,000円（参加回数の制限無し・アーカイブ無）

〃 1回参加 1,500円（アーカイブ無）

アーカイブ配信 6,000円（6回分・アーカイブのみ、配信期限有）

※ みどりまち文庫会員は10%割引

【主催・問い合わせ先】

株式会社瀬尾医療連携事務所

TEL: 080-3144-7527

E-mail: rikako.seo@seojimusho.com

▶ 詳細・申込は
こちらをフォロー



のぎへん塾

【開催内容と開催日】 各15:00～16:30

※各テーマ火曜日と土曜日は、同じ内容で行います。ご都合に合わせてご参加ください。

※ワークを重視しています。

テーマ	火曜日	土曜日
① 地域包括ケアシステムの本質について 現在進められている地域包括ケアシステムの本質は自助・互助である。この講義において、地域包括ケアシステムについて、庄内地域で具体的にどのような取り組みが行われているのか、その「ありたい姿」としてどのようなイメージを抱けばいいのか。そして、「ありたい姿」と現状とのギャップを埋めるための課題および課題解決のための戦略について提言する。	7月9日	7月13日
② ACPの本質について ACPの本質は、自分の人生をどのように生ききるのか、自分ごととして考えることであり、また、その人生を支援する他者(*)を意識することである。この講義において、ACPが重要となってきた背景について、ACPが誤解されている理由など、そして、具体的にACPをどのように行うのかについて解説する。*他者は人間とは限らない	7月23日	8月3日
③ 在宅ケアの本質について 在宅ケアの本質は、多様な価値観を学ぶこと、一人ひとりの生き方があることを理解することである。この講義では、ケアについて、在宅ケアについて、また、看取りのケアについて話題提供する。	8月20日	8月31日
④ 医療の本質について 医療の本質は、尊厳のある人間のライフ（生命・生活・人生）を黒子として支えることである。20世紀の医療の目標は「病気を治すこと」であった。しかし、平均寿命が延び、人が寿命で死ぬ時代となった21世紀の医療の目標は「治し支える」ことになった。この講義では、医療の概念がどのように変わってきたのか、「治し支える医療」とはどのようなものかについて話題提供する。	9月3日	9月7日
⑤ 死の本質について 死の本質は「生」である。生物であれば必ず訪れるのが死である。生きている人間が死ぬ確率は100%。死の世界を経験し、それをつぶさにレポートしてくれた人はこれまでにない。死は仮想現実であるが仮想することは自分の人生にスポットライトを当てるものとして重要である。人間は死を背負いながら生きて居るともいわれており、人の生を浮かび上げさせるのは死である。この講義では、皆さんで死について考えることを主として、そのための他愛のない話題提供を行う予定である。	9月17日	9月21日
⑥ 生きがいについて 「生きがい」という言葉は、日本に特有な言葉である。この言葉は普段何気なく多くの人が使っている言葉であるが、今後の在宅ケアのみならず高齢化社会において重要なキーワードとなるものと思われる。この講義では「生きがい」の言葉の持つ特徴について、また、「生きがい支援」について解説する。	10月8日	10月19日